

第 123 回 岩手小動物臨床研究会 (IVC) のご案内

歳末の候、皆様お変わりございませんか。

お花見以来、すっかりさぼってしまして会員の皆様には本当に申し訳ないことをしたと深く反省している次第です。そこで今月から、また出来るだけ月一回のペースに戻そうと努力する所存ですので、これからもどうぞご協力のほどをお願い致します。

さて、久しぶりの今回は、10月より岩手大学小動物外科学教室に赴任されました岡村泰彦先生に話題提供をしていただくことになりました。岡村先生は腫瘍疾患のエキスパートであり、また腹腔鏡手術の専門家でもあります。今回は腫瘍マーカーの話題を提供していただけることになりました。もう1題は、最近人医界でも話題の「CKD:慢性腎臓病」の猫の症例報告を予定しています。年末でお忙しいことと思いますが、どうぞたくさん先生方のご参加をお待ちしています。当日は勉強会の後、忘年会を予定しています。こちらもどうぞよろしく願いいたします。

佐藤れえ子

—記—

日時: 12月19日(金) 午後7半より9時

場所: 岩手大学 農学部 1号館2階 会議室

話題 : 1. 獣医臨床における RCAS1 の腫瘍マーカーとしての
有用性の検討

岩手大学 岡村泰彦 先生

2. 猫の CKD の1例

岩手大学 渡邊菜の子さん

* 忘年会のご案内は、後日幹事さんから改めてお知らせ致します。

また、124回 IVC は、来年の定例日:1月30日(金)に鳥取大学の岡本芳晴先生を講師にお迎えして、「伴侶動物の最新癌治療法」と題して話題提供をお願いしています。

第123回岩手小動物臨床研究会(IVC)のご案内



—記—

日時： 12月19日(金) 午後7時半より

場所： 岩手大学農学部1号館2階会議室

話題：1. 獣医臨床における RCAS1 の腫瘍
マーカーとしての有用性の検討

岩手大学 岡村泰彦 先生

2. 猫の CKD の1例

岩手大学 渡邊菜の子さん